

荒川 Clean Aid News

荒川でちょっといいこと ゴミ拾い
SINCE 1994
あらかわクリーンエイドニュース

vol. 70

冬号

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム <http://www.cleanaid.jp/>

大量消費・大量廃棄社会の縮図

荒川クリーンエイド 2012 川ゴミ データ速報!

荒川の水辺やヨシ原に堆積するゴミの種類と数を「調べながら拾う」荒川クリーンエイド。

埼玉県秩父市から東京湾まで、荒川流域各地より届いたゴミのデータから、今年は何が読み取れるでしょうか。



荒川クリーンエイド2012参加企業・団体

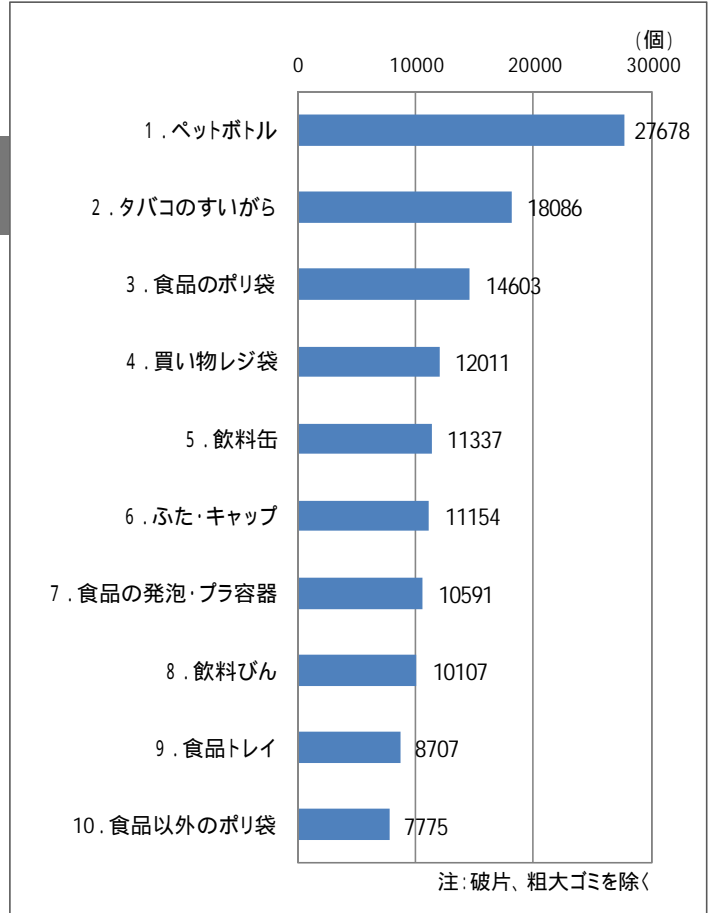
市民団体 足立区本木ワンド・水辺の会、あらかわエコフレンド、(NPO)荒川の自然を守る会、あらかわミズガキ隊、荒川夢クラブ、板橋水辺を楽しむ会、いたばし野鳥クラブ、市野川水系の会イン滑川町、(NPO)えどがわエコセンター、江戸川・生活者ネットワーク、大谷川クリーン大作戦市民実行委員会、尾久の原愛好会、ガールスカウト東京都第215団、葛西東渚・鳥類園友の会、川の手ファンクラブ、北区水辺の会、北区水辺クラブ、(NPO)熊谷の環境を考える連絡協議会、黒目川クリーンエイド実行委員会、江東エコリーダーの会、鴻巣の環境を考える会、小松川平井連合町会、(財)埼玉県生態系保護協会 川口支部、(財)埼玉県生態系保護協会 戸田・蕨支部、下平井水辺の楽校、隅田川市民交流実行委員会、大正大学 環境サークルsmile、秩父こどもエコクラブ(秩父教育懇話会)、(NPO)秩父の環境を考える会、東京城北ライオンズクラブ、都漁連内湾釣漁協議会、(社)とだわらび青年会議所、中土手に自然を戻す市民の会、西なぎさ発：東京里海エイド、ふるさと清掃運動会実行委員会、ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会、ボーイスカウト東京連盟 城北地区 北第11団、三井ボランティアネットワーク事業団、(NPO)荒川クリーンエイド・フォーラム 企業 (一財)アールピーススポーツ財団、足立成和信用金庫、SMCシビルテクノス(株)、SMBC日興証券(株)、(株)エックスワン、NTT東日本埼玉グループ、NTT労組埼玉グループ連絡協議会、NTT労組東京グループ連絡協議会、(株)ガリバーインターナショナル、(株)かんぼ生命保険、(株)キャプティグループ、(一社)建築ビジョン、小松川信用金庫、佐川急便(株)、JFE商事労働組合、(株)資生堂、島村運輸倉庫(株)、(株)シミズ・ビルライフケア株式会社、JAMBO International Center、情報労連埼玉県協議会、情報労連東京都協議会、ジョンソンコントロールズ(株)、住友生命保険(相)、(株)ダイエー、(株)チームビルディングジャパン、(一社)東京損害保険代理業協会、24時間テレビチャリティー委員会、日本アイ・ピー・エム(株)、日本クラフトワーズ(株)、日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)、日本工営(株)、日本メトロニック(株)、(株)日立ビルシステム、(株)ファミリーマート、(株)藤商事、ブルームバーグLP、松山油脂(株)、マルハニチロ グループ、三井住友海上プライマリー生命保険(株)、(株)三井住友フィナンシャルグループ、三井ボランティアネットワーク事業団、(株)ユニック、リコーテクノシステムズ(株)、りそな銀行首都圏地域、ローソングループ 学校 (学)足立学園中学校、荒川区立大門小学校、江戸川区立大杉小学校、江戸川区立小松川第二小学校、江戸川区立平井小学校、江戸川区立平井東小学校、葛飾区立小松南小学校、北区立岩淵小学校、東京都立桐ヶ丘高等学校 自治体 足立区、足立区荒川ビジターセンター、足立区社会福祉協議会 総合ボランティアセンター、荒川区教育委員会社会体育課、荒川を考える葛飾区民会議、板橋区みどり公園課、板橋グローブクラブ、江戸川区土木部計画課、葛飾区、川口市建設部建設管理課、北区、江東区土木部水辺と緑の課、墨田区、台東区教育委員会、戸田市河川課 (五十音順)

Top Line Report for

2012年も、荒川流域各地で「調べるゴミ拾い」荒川クリーンエイドが実施されました。参加者数は過去最高の13,443人。ご実施、ご参加、ご支援いただいた皆様、本当にありがとうございました！

各地から届いたホットなデータを、いち早くご紹介します。詳細は、「荒川クリーンエイド・フォーラム2012報告集」(2013年3月発行予定)をご覧ください。

荒川のゴミ TOP10

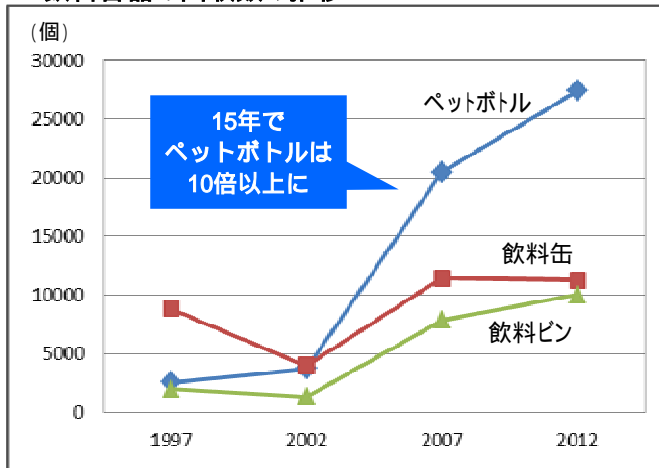


1. ペットボトル、4年連続1位

2012年、荒川クリーンエイドでは27,678個のペットボトルを回収、ペットボトルは2009年より不動の1位となっています。

荒川のペットボトルのゴミは、この15年間に10倍以上に増えました。清涼飲料用ペットボトルは、1982年に日本に初導入、1996年には500mlが解禁となり、飲料容器としてのシェアを徐々に伸ばしました。荒川のゴミは、こういった社会の変化を如実に反映しているといえます。

飲料容器の回収数の推移

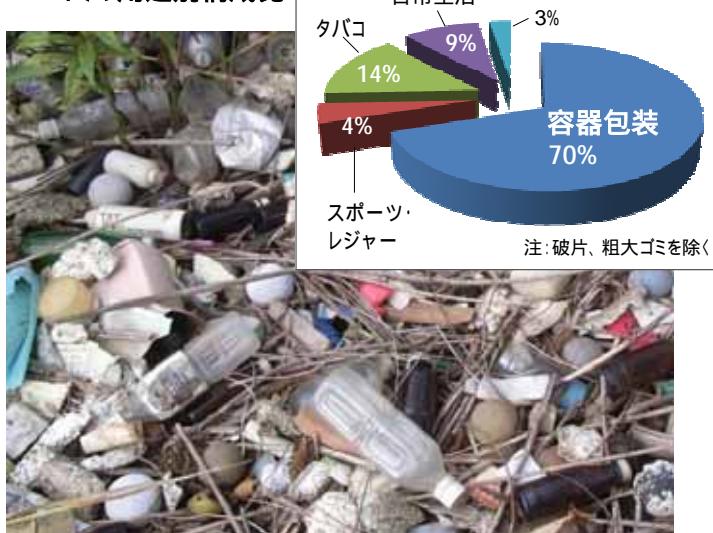


2. ゴミの7割が 容器包装

荒川のゴミ上位10のうち、タバコのすいから以外のすべてが、ペットボトル、レジ袋、食品トレイといった「容器包装」です。容器包装を合計すると、全体の7割を占めます。

これは、私たちが日頃、購入後すぐにゴミとなる「容器包装」をいかに大量に買い、廃棄しているかを物語っています。

ゴミの用途別構成比



【調査の概要】

荒川クリーンエイドでは、ゴミを拾いながら、ゴミ調査カードを用いて、ゴミの種類と数を調べている。

- 1) 期間 2012年1月～12月
- 2) 場所 荒川流域等の河川敷・水際
埼玉県秩父市～東京都江戸川区・江東区
- 3) 地点数 133ヵ所(延べ)
- 4) 調査項目
 - 回収した散乱ゴミの種類別個数、及び袋数
 - 回収した粗大ゴミの種類別個数

3. 粗大ゴミ1位はプラスチック・ケース

荒川では、粗大ゴミも多く回収されます。最も多いのはプラスチックケース・カゴで、この10年間に徐々に増えています。

荒川中流では、河川敷が広く人目につきにくいことから、粗大ゴミの不法投棄が多数報告されています。これらが大水のときに川に入り下流に流れて来ることが原因のひとつと考えられています。

粗大ゴミ TOP5

順位	粗大ゴミの種類	回収数(個)
1位	プラスチックケース・カゴ	139
2位	タイヤ	129
3位	材木・角材	114
4位	傘	100
5位	自転車・三輪車	61

ARAKAWA Clean Aid 2012



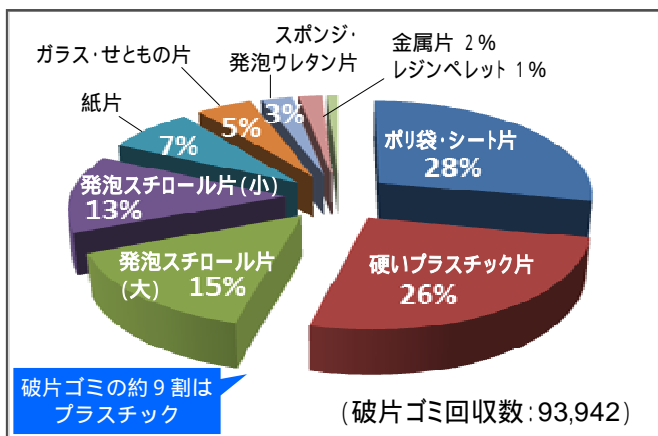
4. 蓄積し続けるプラスチック片

～自然界への影響は未知数～

荒川クリーンエイドでは、原形をとどめていないゴミの破片も多数拾っていただいています。

その大半を占めるのは、ポリ袋・シート片、発泡スチロール片(大・小)、硬いプラスチック片、つまりプラスチックの破片です。

破片ゴミの構成比



生物による誤飲の問題

ポリシートや発泡スチロールも含めたプラスチックは、川や海を漂ううちに、紫外線などの影響でもろくなり、細かく砕け、最終的には粉状になっていきます。微細化したプラスチックは魚や鳥などに取り込まれ、人間も含めた食物連鎖に長期的に影響を及ぼすことが懸念されています。



破片になる前に、荒川でストップする

ポリシート、発泡スチロール、硬いプラスチックなどが微細化すると、生物にダメージを与えるばかりか、回収が困難となるのも大きな問題です。破片となる前に、また海へと流出する前に、荒川で拾い、食い止めることが大きな意味を持ちます。



荒川中流での不法投棄

荒川クリーンエイドのフィールドから

毎号、はじめて荒川クリーンエイドを実施された企業や団体の皆様に活動の成果やご感想などをお寄せいただいています。今回は、秋のクリーンエイドに参加された株式会社ユーニックさんの活動をご紹介します。

未来にきれいな自然を残すため

NEW 株式会社ユーニック 藤本 由佳 さん

平成24年8月下旬に上司の勧めで荒川クリーンエイドさんのホームページを拝見して、9月の体験コースに参加しました。私自身、ボランティア活動に参加するのが初めてでしたが、荒川クリーンエイドさんのご指導により楽しく活動ができました。終わった後は、とてもすがすがしい気持ちにもなれました。

11月25日(日)に実際に荒川河川敷の清掃活動を行うことになりました。当日は、地域・環境貢献を果たし未来にきれいな自然を残すことを目的とした当社のボランティアサークルチームとその家族の21名で河川清掃を実施しました。

場所は、京成八広駅を基点に1キロ程度の範囲の河川敷で、最初は思ったほどゴミが落ちていないように見えたのですが、水際のヨシの中まで入ってみると上流や海から流れ着いた大量のゴミが出てきました。ゴミのダメージを受けたのかは不明ですが、水辺に大きなエイの死骸があったのにも驚きました。

大量のゴミを目の当たりにして、少しでも荒川をきれいにしようと時間も忘れ真剣に取り組んでいる参加者の姿が印象的でした。ゴミを拾うだけでなく、そのゴミの種類と数を記入しなければならないので、参加者もチームごとに声を掛け合いコミュニケーションをとりながらの作業ができていました。

集計の結果、ゴミの種類は、やはりペットボトルやタバコの吸い殻が多かったです。他では、食品の容器やレジ袋・紙片などが多く、河川敷を使用した人が自分で出したゴミは自分で持ち帰るという意識改善でかなりゴミも軽減するはずでした。

今回の清掃活動を通して、各自が環境についていろいろと考える良いきっかけになったと思います。この活動は、地域貢献・環境美化に加え、社員教育にも大変効果があるので、今後も継続していきたいです。



担当者さんが説明会・体験会に参加され、実施方法を理解し、万全な準備で当日に臨まれました。飲料関係の物流企業さんとして、今後も荒川のゴミに関心をお持ちいただくことを期待させていただきます。

(荒川クリーンエイド事務局)

荒川クリーンエイド・フォーラム報告・連絡会 ご案内

2012年を振り返り、2013年のさらなる発展を目指して、報告・連絡会を開催します。会員ほか、どなたでもご参加いただけます。

日時 2月15日(金) 13:15～受付開始
会場 北とぴあ802会議室(JR・東京メトロ王子駅より徒歩すぐ)
定員 50人 **参加費** 会員無料、非会員500円
 事前にお申込みください。(荒川クリーンエイド・フォーラムまで)

第一部 2012年報告会 13:30～14:30

ゴミ調査の結果概説
 会場からの報告【ゴミ拾いゲームの発案】
 (株)チームビルディング・ジャパン代表取締役 河村 甚 様
 荒川クリーンエイド2012 功労者賞

第二部 パネルディスカッション

14:45～16:45

どうなる、公的市民参加のしくみ

～荒川下流での自然地管理・アダプト制度の展望～

荒川下流の自然地の管理を、市民・民間・国が連携して進めるべく、アダプト制度が導入されようとしています。よりよい連携の在り方とは？課題と展望をパネルディスカッション形式で皆様と共に考えます。

【パネリストの皆様】

住友生命相互会社調査広報部CSR推進室 室長 濱本 信樹 様
 国土交通省荒川下流河川事務所 所長 波多野 真樹 様
 里川小松川自然地協議会(江戸川・生活者ネットワーク事務局長) 稲宮 須美 様

絶滅危惧種の復活プロジェクト 報告 みんなの力で生息環境をつくろう！



この活動は絶滅危惧種というシビアな状況に配慮し、これまで一般への発表や大人数の関与を避けてきましたが、初めて一般募集を行っての保全活動を実現しました。これは47都道府県のNPOと地域の方々、損保ジャパンが一緒になって、全国各地の「いきものが住みやすい環境づくり」を行うSAVE JAPANプロジェクトの一環として、実施されました。

荒川の希少種を守るために、損保ジャパンの社員の方、代理店の方をはじめ、地域のボランティアセンターを通じて集まった方、SAVE JAPANのホームページで共感して参加を申し込まれた方、環境ボランティアサークルの大学生の方など多様な方が70名以上参加して、その力を結集することで、少人数ではなしえなかった大規模なヨシ刈りとゴミ拾いが実現できました。

参加者のアンケートでは、ゴミの多さに驚き、これからゴミを出さない社会を考えたいと問題を体感した回答、また、楽しかった、みんなで取り組んで充実感があつたなど前向きなご意見が多数寄せられていました。この輪を確実に広げていって、活動を継続していくことで、より良い生息環境を作っていきたいと思えます。



ヨシ原に分け入ってのゴミ拾い
 重労働ですが、皆さんとても熱心に行っていました。



ヨシ刈りチームの作業風景

みんなで力を合わせて、広大なエリアを刈ることができました。

ご寄付 (2012年9月～12月決定分)

皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

一般寄付

グリーン家電エコポイント、住宅エコポイント、キュービー(株)、(株)丸井

テーマ別寄付 普及啓発基金 連合東京

循環型社会創造基金 くれぱす(明治大学環境ボランティアサークル)

荒川クリーンエイド ニュース vol. 70 2012年度冬号

2013年1月8日発行

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム

〒132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

TEL 03-3654-7240

FAX 03-3654-7256

URL <http://www.cleanaid.jp/>

E-mail renraku@cleanaid.jp